

平成15年10月28日

各 位

会 社 名 杏林製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 荻原 郁夫
コード番号 4560(東証第一部)
本社所在地 東京都千代田区神田駿河台2-5
問い合わせ先 取締役経理部長 宮下 征佑
TEL(03)3293-3420

業績予想の修正に関するお知らせ

平成15年5月15日の決算発表時に公表しました平成15年9月中間期(平成15年4月1日~平成15年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成15年9月中間期業績予想数値の修正

(1) 連結

当中間期業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成15年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回発表予想(A)	31,100	2,700	1,500
今回修正予想(B)	30,800	3,300	4,600
増減額(B-A)	300	600	3,100
増減率	1.0%	22.2%	206.7%
ご参考:前中間期実績 (平成14年9月中間期)	31,878	4,904	1,555

(2) 個別

当中間期業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成15年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回発表予想(A)	30,400	2,600	1,400
今回修正予想(B)	30,100	3,200	4,600
増減額(B-A)	300	600	3,200
増減率(%)	1.0%	23.1%	228.6%
ご参考:前中間期実績 (平成14年9月中間期)	31,164	4,626	1,319

2. 平成16年3月期通期実績の連結および個別の業績予想につきましては、現在見直し中であり、当中間期決算発表時(11月5日予定)にお知らせいたします。

3. 理由

売上高につきましては、老人保健法、健康保険法の改正に伴う老人及び被用者本人の自己負担増による受診抑制や、競合状況の激化など、厳しい環境下ではありましたが、ほぼ当初予想通りとなる見通しです。

一方、利益面につきましては平成15年10月22日にお知らせしましたとおり、厚生年金基金の代行部分の返上により、平成16年3月期の中間期および通期の決算において特別利益として約44億円を計上する見込みとなったことから、当期純利益が当初予想を上回る見込みです。

備 考

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますことをご承知おき下さい。

以 上